



R-18  
for Adult only!

東方木の子学  
Presented by 1p-611-21

11/10/2018  
有田記2!





# ～前回のあらすじ～

ある冬に古木の麓でチルノに拾われた3人の捨て子。

ちょっとエッチなことに興味のある、そんな年頃に成長した彼らのもとにレミリア、咲夜、パチュリーが現れ性の手ほどきを始めちゃったからさあ大変。

そして、季節は巡り・・・

## 3人の木の子



エノキ

三男。隠されたものを見破る能力を持つ。力の効き目は探す対象とエノキ本人との関係性の強さに比例する。自分にコンプレックスを抱いている。ど助平。



シイタケ

長男。弟同様何か特別な能力を持っているらしいが自覚なし。すぐ鼻血を出す。ど助平。



ナメコ

次男。近い者と感覚を共有する能力を持つ。その効力は共有する対象とナメコ本人との関係性が深くなるほど強くなる。他の兄弟に比べあまり女性に興味を持っていない様子・・・？無口。



チルノ

3人の木の子を拾った義理の母親兼氷の妖精。歳を取らない。成長する3人を見守ると同時にひとりだけ大人になれない自分にもどかしさを感じている。



パチュリー



レミリア



咲夜



### ■いきなり奥付■

東方木の子学～チルノの子育て奮闘記2!?!～

原作：上海アリス幻楽団

発行日：2011/12/30

印刷：ひかりぷりんと様

サークル：パームサンデー

著者：レリ

pixiv ID 324298

twitter ID 8Leli8

mail 8leli8@gmail.com







まあ、例によって  
チルノに振り回され  
てるってワケ

じゃあ、  
次の問題はエノキ君、  
答えてくれる？

はい！

話はちよつと  
さかのぼるんだけどさ

当時、尾張国は今川氏の  
尾張権政にふり守護の  
斯波氏の力が衰え...



なにつて...  
べんきょう道具よ！

?  
な、なんだよ  
コレ

あんたらこれで寺子屋に  
通いなさい！

いや、それは  
分かるけどさ  
...



今はぐれきしゃかい  
なんだから！

はあ!?





勉強なんてクソ喰らえ  
そりゃそう思ったけど

でもあいつはこんなモンのために  
毎日毎日...知ってたから

お前の一緒に通うんだ!  
俺たちより  
馬鹿なんだから!



とまあそんな感じなんだけど、  
通ってみれば  
意外に勉強も悪くない

両者は永禄五年  
同盟を結び!

少なくとも退屈は  
しないし...

ええええええ!!



先生は美人だし

正解!  
良くできました!

いや、これはちよつと  
問題だったかな



おかげでこいつはズルし放題

エノキ君って本当に勉強できるのね。どんな問題もすぐに答えちゃうもの！

そりやそうだよ 答えがぜんぶ見えるんだから

こいつの目は隠されたものを見破るそれが本来目に見える物体かとは関係ないんだ

えっじゃあエノキに分からないことはないのかって？

まさか

実際にはこいつの力はほとんどのものに通用しないんだ

じゃあ、次の問題はシイタケ君、答えてね

俺の弟… エノキとナメコの力は対象との関係性に大きく左右されるから

家族、親友…関係性の深い対象ほど力は強く働くけれど、赤の他人やそれにまつわる物事にはせいぜい薄布一枚透かす程度の効力しか発揮できない

どうしてかは分からないけど そうなっているんだ

シイタケ君？

エノキが答えを見ることが出来るのは、それが慧音先生の出した問題だから

聞いている？

そう、こいつはつまりー

シイタケ君！

シイタケ君が…



ガラにもなく“初恋”なんて  
しちゃってるんだー



こらっ！  
シイタケ！

先生が問題答えろって  
言ってるでしょうが！



あ

わ…

# 東方木の子の学著レリ

わかりません





チルノのやつ、  
最近ますます  
横暴になってねえか？

ザッパ



ホーホー

つたく！

～チルノと  
木の子の家～

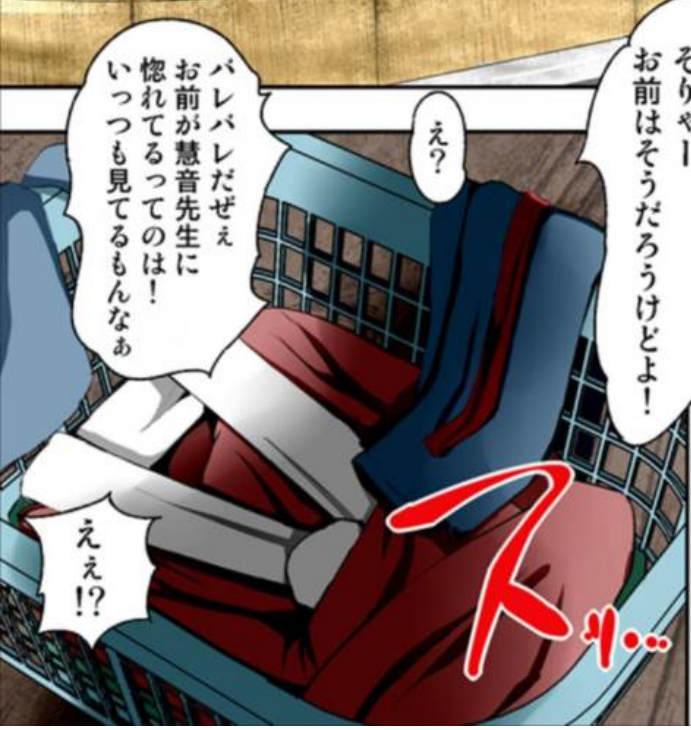


ぼくも  
そう思うな…

むっ…

ママなりに心配を  
してくれてるんだよ

チャッ



バレバレだぜえ  
お前が慧音先生に  
惚れてるってのは！  
いつつも見るもんなあ

え？

そりやー  
お前はそうだろうけどよ！

ええ！？

アッ…



アッ…



それにぼくは  
勉強もけっこう  
楽しいと思うし…



そんなんじゃ…

キヤ

ただ、あの人がときどき  
すごく寂しそうに  
見えるから…

は？  
寂しそう…？

なにになに？  
面白そうな話してるじゃん  
あたいも混ぜてよ！

ガウッ

オ





えーいいじゃない  
ちよっと前まで一緒に  
入ってたんだから

おっおい!  
何入ってきてんだよ!

ねえねえ、それよりエノキ!  
あんただけーね先生好きなの?  
その辺母さんに詳しく話してみなさい!

ええっ!?

ぞぼ



もう、そういうの  
あんたの悪いトコ!

はい!?

おぼ



いや、  
でもほんんかに言われても  
先生も困るだろうし・・・  
その・・・

ぶ!



あんたはもつと自分に  
自信を持ちなさい!  
ほら、しゃんとして!

わい!



大丈夫  
勇氣出して

あなたはあたいの  
自慢のことも  
なんだから

はてと

あ

あ

あ

あ

あ

勇氣、か…

ホ

おい、何ふたりして  
くつついてんだよ!

何よ、いいじゃん!

うっせー!  
クセーまんこ近づけんな!  
このドリアン妖精!

なにをー!!

くふ  
おおい、そろそろ  
やめ…  
わ

ど

けふ…









…なんだい

あれ、この人男？ 女？

あの、このところ慧音先生ずっと見ないんですが、何か聞いてませんか？



ん…  
私はただの用務員だからね  
詳しくは知らないが

どうも少し体調が  
優れないらしくてね  
心配ない  
すぐに戻ってくるさ



体調が…？

そんなふうには



見えなかったのに…

















尻尾に…角？  
先生、その姿は

…  
気味悪いでしょ  
先生、本当は妖怪なの

人と、人の歴史を貪る  
浅ましい化生



よかった、先生  
心配して…



エノキ君…？

どうして…  
ここが



こないで！



以前は満月の日にだけ  
この姿に変わっていた

でももう抑えられない  
私の人としての部分が  
日に日に薄れていく

戻れないならせめて  
人の意志を保てるうちに  
…静かに

そんな  
どうして…



そんなの、  
駄目だ！



もう行きなさい  
私のそばにいと  
危険だから

駄目だよ…



先生：  
ぼくには探し物を見つける  
力があります

だけどそれがすでに  
失われたものだったなら  
……この目にも見えない  
見つけられない

それがもうこの世界のどこにも  
存在しないんだって  
わかってしまうんだ

父さん、  
母さん……

そんな思いはもう……  
感じたくないんです

今はっきりと分かった  
ぼくはあなたを  
失いたくないんだって

あなたを救う方法だって  
「見つけて」みせる

ぼくはまだ  
子供かもしれないけど

あなたのことが、  
好きだから







私が最後に



手にかけてた、ひと…

お願い…来て



最後に人のぬくもりを  
感じたい…





誰？

子供たちニ  
勉強ヲ習ワセ  
タインダネ

誰なの!?

それならいい  
寺子屋があるんだ

どうかな  
そこに通わせて  
みるというのは

思い……  
出せない……





あ…  
いきなりそんなトコ

ちゅ  
ちゅ  
ちゅ

もっとちゅっくら…

ちゅ

ご、ごめんね  
先生こういうの  
すごく久しぶりで

か、かわいい…

とまろ

ほまっ…

ちゅぽんっ

大丈夫…  
ぼくにまかせて

んっ







先生、身体：  
平気？

ええ、でも…ちよつと  
びっくりしちゃった

え？

エノキ君、  
こういうの詳しいって  
思ってたから

ちよつと前  
そういうの詳しく  
教えてくれた人がいて

えと

あと、シイタケの  
捨ってくる  
エロ本とか…

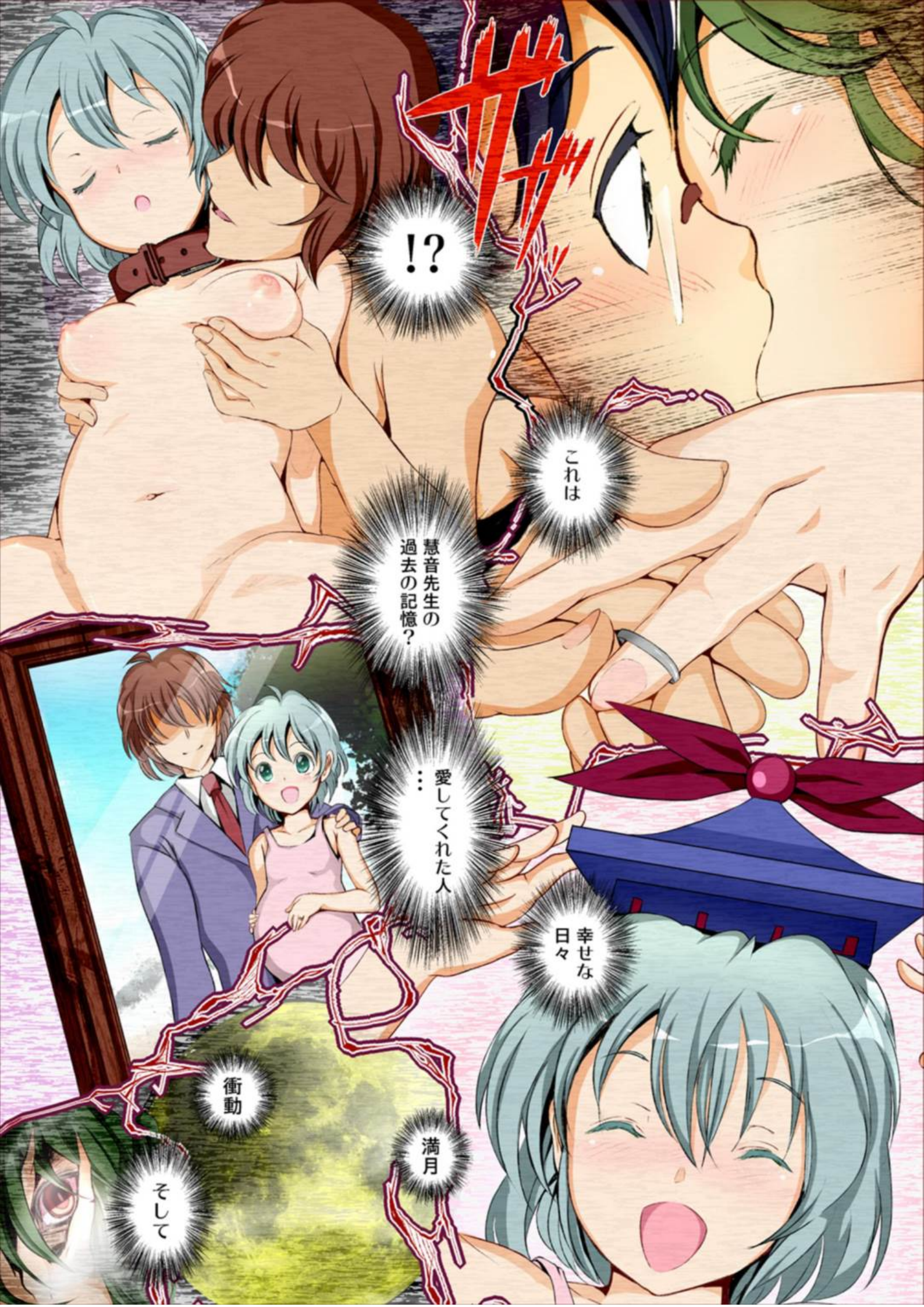
おきゅん

じゃあ、大人のキスは？

そうー

えっー





ザザ

!?

これは

慧音先生の過去の記憶?

愛してくれた人

幸せな日々

衝動

満月

そして





全てを  
壊してしまった日……

だから妖怪になるたびに  
人里から距離を  
取るようになった

先生……

先生は人を  
愛しすぎたんだね

どうして……  
そんなことまで？

あなたと結ばれることが  
できたから……  
先生、ぼくは！

もういいの

エノキ君……

でも人の血肉を  
取り込まなくなったことで  
先生は少しずつ  
人であることから  
遠ざかっていった……

嬉しかった……

最後に……あなたが  
見つけてくれて





エノキ：気持ちよさそうだけど、いつもみたく「共感」しないの？  
 ……馬鹿



わわ…  
 すごいことに  
 なってるね…

ん  
 ほ

今あいつの気持ちを  
 共感したら



俺、ぎゅと  
 泣いちゃうぞ…

ズ

ちゅ  
 ちゅ  
 ちゅ  
 ちゅ  
 ちゅ  
 ズ  
 ズ

ん  
 ズ  
 ズ

あ  
 あ





ちよつと激しく  
動きますね

先生…



きゅん



先生っ

ほあ？！  
いいよ…  
来て！

私が全部、  
受け止めてあげるから…！





先生・・・ッ

先生ー

先生っ！

好きですっ！

先生・・・もしも

もしも  
ですけれど

ぼくが...  
自分のこと  
食べてくれて  
言ったら怒りますか？

え!?

ほら、ぼくこんな  
ガリガリだし、  
食べ出ないかもだけど

もしそれで  
先生が救われる  
ならー

・・・ッ

アッ





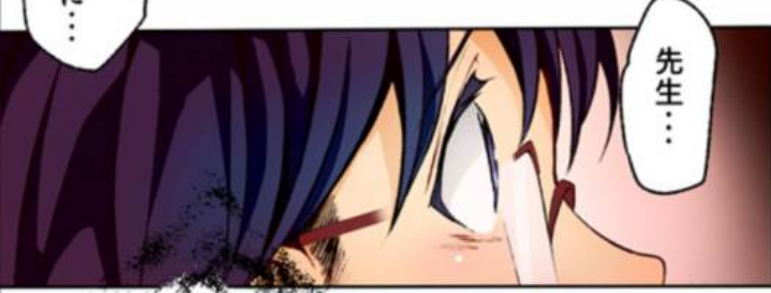


どうしてあなたまで  
そんなことを言うの？

もう誰かを犠牲にしてまで  
生きてゆくのは耐えられないのに……



……どうして

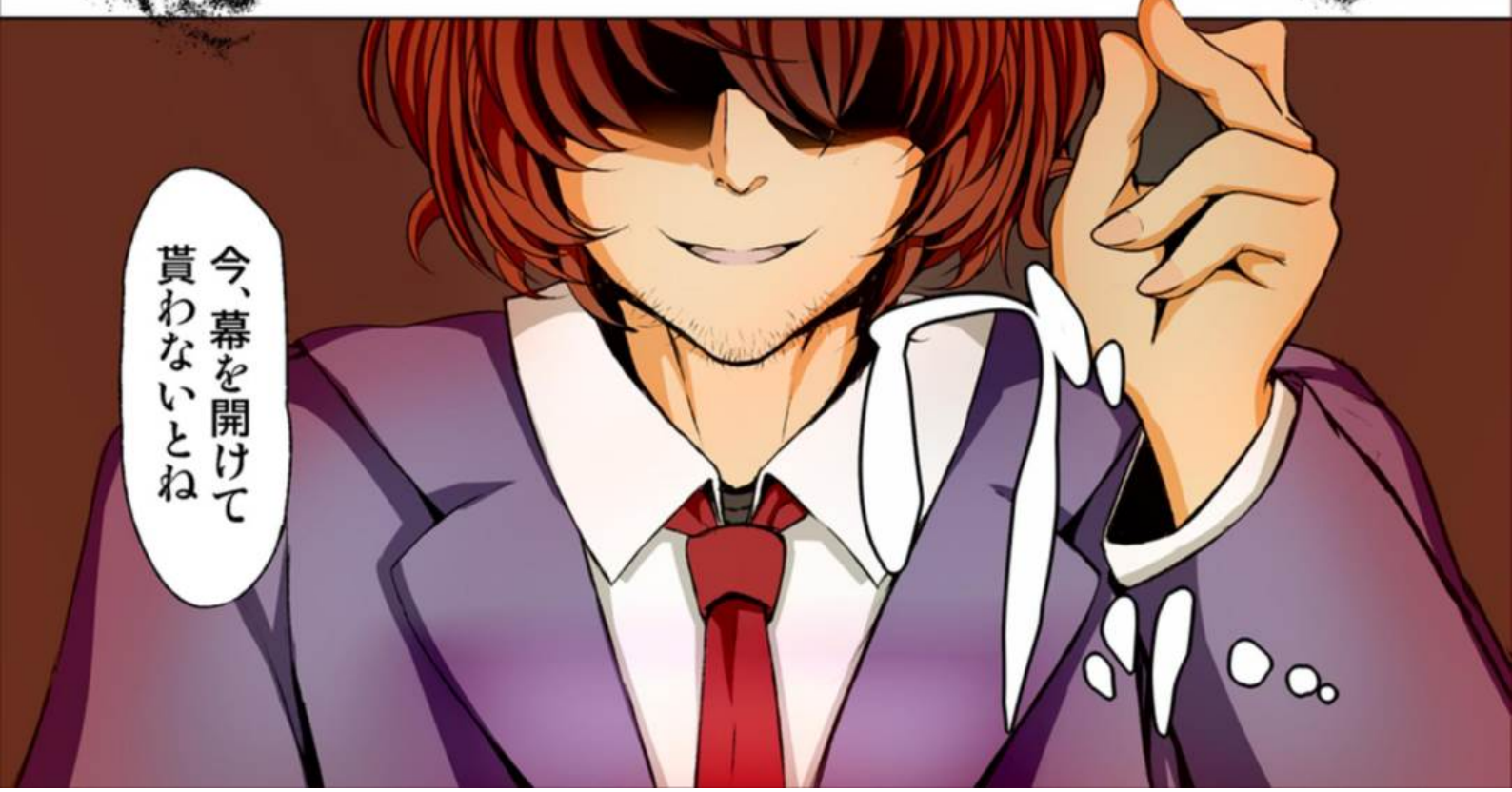


先生……



そう……

それじゃ駄目  
なんだよ



今、幕を開けて  
貰わないとね





先生!?

…?



は、離れて!



先生…

オサエ  
ラレ!

だめ:  
モウ:



何? 様子が  
おかしくない?

…!?



に  
ニゲ:





シイタケ!?

斬





そんな…  
お嬢様のカップが  
割れるなんて!?

…っ!?  
レミリア様!

…



力を





力を

使った……!!

なに?









東方木の子学

～チルノの子育て奮闘記2!?～

Presented by パームサンデー  
著者 しり

東方project fanbook